講義名	心理学演習（体験型コミュニケーション）			授業形態	
担当教員	中川　典子	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 ３時限		
		単位数	2	履修開始年次	２年生	ナンバリング・コード	SOP280

主題と概要

SNSの普及は利便性とともに、以前には見られなかった新しい形式で人と人とを繋ぐツールを私たちの日常生活にもたらした。他方、ＳＮＳの普及により、直接他者と対面してコミュニケーションをとりながら人間関係を構築することに苦手意識をもつ若い世代を生み出してきたことも否めない。本コースでは、「ラボラトリー方式」による体験学習を通じてグループメンバーとの対面によるコミュニケーションを実践することにより、社会で生き抜くための実践的なコミュニケーション力を培うことを目的とする。

到達目標

本コースでは以下の能力を養うことを到達目標とする。

（1）グループ活動を通じて自分のこれまでの他者との関わり方を見直すことができる。
（2）良好な人間関係の構築について、考察を深めることができる。
（3）自分自身を見つめ直し、自己理解を深めることができる。
（4）多様な視点で物事を見ることができるようになる。
（5）文化とコミュニケーションとの密接な関係を理解できるようになる。
（6）リーダーシップについて考え、実践することができるようになる。

提出課題

授業内容は、「自己理解」「課題解決型ワーク」「ビジネスマナー」「異文化間コミュニケーション」というビジネスコミュニケーションに必須の内容で構成される。上記のテーマの幾つかについては、翌週の授業準備のために課題としてRyuka Portalのキャンパスクロスに掲示するので、期限までに提出する。また、授業に毎回の授業活動に対する考察を「学びと気づきの振り返りシート」に執筆し、期限までに提出する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

毎回、授業後に振り返りシートの執筆を課す。翌週の授業の最初に教員が「学びと気づきの振り返りシート」を匿名で紹介し、クラスで共有する。また、その他の課題に対する受講生の回答を授業中に共有し、テーマに対する理解を深める。

評価の基準

（1）課題（60%）
（2）定期レポート試験（40%）

＊コースの評価は、上記の成績評価基準の両方の項目を総合して行うが、どちらか１つしか取り組まない場合は不合格となる。

履修にあたっての注意・助言他

（1）コースの評価は、上記の成績評価基準のすべての項目を総合して行うが、一つでも不参加の項目がある場合は不合格となる。
（2）講師が入室したときに教室にいない学生は遅刻者と見なす。特別な理由がない限り遅刻厳禁。
（3）15分以上の遅刻は欠席となる。また，5回以上欠席すると定期試験の受験資格を失い、単位を取得することができない。遅刻するとその日のワークに参加できなくなり、振り返りシートも提出できなくなるので注意すること。
（4）授業態度が悪い場合や積極的にグループワークに取り組んでいない場合は大幅な減点となり、落第する可能性があるため、留意すること。

＊詳細は、第1回目の授業で知らせる。

教科書

.使用しない.				

参考図書

その他

必要に応じて、適宜、Ryuka Portalの「キャンパスクロス」に掲示する。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

○	ア：PBL（課題解決型学習）	○	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	○	ウ：ディスカッション、ディベート
○	エ：グループワーク		オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）				

授業内容に応じて上記を適宜採用する。毎回、すべてを網羅するわけではない。

備考	「体験学習」をテーマにしたこの授業では、受講生の積極的な活動への参加と授業に先立つ課題の提出が必須となる。授業に関する連絡はキャンパスクロスを通じて行うので必ず確認すること。

授業計画

第1回　コースガイダンス； 円滑なビジネスコミュニケーションのための４つの要素とは
（予習内容）敬語マナーワークシート課題、自己理解ワークシート課題、カルチュラルアシミレーター課題。（180分）
（復習内容）シラバスを読み授業の概要と進め方を理解しておくこと。授業資料を見直し、講義内容に対する理解を深めること。（60分）

第2回　体験型コミュニケーション1（敬語トレーニング1、自分を知る、コンテキストとコミュニケーション）
（予習内容）自己理解ワークシート課題、カルチュラルアシミレーター課題。（120分）
（復習内容）授業で体験した内容が、自身の日常生活と体験にどのように関わっているのかを考え、振り返りシートを提出する。（120分）

第3回　体験型コミュニケーション2（課題解決型ワーク1、変身ゲーム、文化と言語表現）
（予習内容）敬語マナーワークシート課題、自己理解ワークシート課題、カルチュラルアシミレーター課題。（120分）
（復習内容）授業で体験した内容が、自身の日常生活と体験にどのように関わっているのかを考え、振り返りシートを提出する。（120分）

第4回　体験型コミュニケーション3（敬語トレーニング2、文章に表れる自己、文化と契約観）
（予習内容）自己理解ワークシート課題、カルチュラルアシミレーター課題。（120分）
（復習内容）授業で体験した内容が、自身の日常生活と体験にどのように関わっているのかを考え、振り返りシートを提出する。（120分）

第5回 体験型コミュニケーション4（課題解決型ワーク2、私の20の扉、ピジン化現象）
（予習内容）敬語マナーワークシート課題、自己理解ワークシート課題、カルチュラルアシミレーター課題。（120分）
（復習内容）授業で体験した内容が、自身の日常生活と体験にどのように関わっているのかを考え、振り返りシートを提出する。（120分）

第6回　体験型コミュニケーション5（敬語トレーニング3、自己開示、文化と時間感覚）
（予習内容）自己理解ワークシート課題、カルチュラルアシミレーター課題。（120分）
（復習内容）授業で体験した内容が、自身の日常生活と体験にどのように関わっているのかを考え、振り返りシートを提出する。（120分）

第7回　体験型コミュニケーション6（課題解決型ワーク3、言い換え表現1、文化と友人の概念）
（予習内容）敬語マナーワークシート課題、自己理解ワークシート課題、カルチュラルアシミレーター課題。（120分）
（復習内容）授業で体験した内容が、自身の日常生活と体験にどのように関わっているのかを考え、振り返りシートを提出する。（120分）

第8回　体験型コミュニケーション 7（敬語トレーニング4、言い換え表現2、文化的配慮）
（予習内容）自己理解ワークシート課題、カルチュラルアシミレーター課題。（120分）
（復習内容）授業で体験した内容が、自身の日常生活と体験にどのように関わっているのかを考え、振り返りシートを提出する。（120分）

第9回　体験型コミュニケーション 8（課題解決型ワーク4、発想の転換、会話における文化差）
（予習内容）敬語マナーワークシート課題、自己理解ワークシート課題、カルチュラルアシミレーター課題。（120分）
（復習内容）授業で体験した内容が、自身の日常生活と体験にどのように関わっているのかを考え、振り返りシートを提出する。（120分）
第10回　体験型コミュニケーション9（敬語トレーニング5、原因帰属、文化と社交辞令）
（予習内容）自己理解ワークシート課題、カルチュラルアシミレーター課題。（120分）
（復習内容）授業で体験した内容が、自身の日常生活と体験にどのように関わっているのかを考え、振り返りシートを提出する。（120分）
第11回　体験型コミュニケーション10（課題解決型ワーク5、こころの支え、文化と援助）
（予習内容）敬語マナーワークシート課題、自己理解ワークシート課題、カルチュラルアシミレーター課題。（120分）
（復習内容）授業で体験した内容が、自身の日常生活と体験にどのように関わっているのかを考え、振り返りシートを提出する。（120分）
第12回　体験型コミュニケーション11（敬語トレーニング6、投函しない手紙、文化と家族）
（予習内容）自己理解ワークシート課題、カルチュラルアシミレーター課題。（120分）
（復習内容）授業で体験した内容が、自身の日常生活と体験にどのように関わっているのかを考え、振り返りシートを提出する。（120分）
第13回　体験型コミュニケーション12（課題解決型ワーク6、カウンセリング体験、文化と金銭感覚）
（予習内容）敬語マナーワークシート課題、自己理解ワークシート課題、カルチュラルアシミレーター課題。（120分）
（復習内容）授業で体験した内容が、自身の日常生活と体験にどのように関わっているのかを考え、振り返りシートを提出する。（120分）
第14回　体験型コミュニケーション13（敬語トレーニング7、互恵的援助関係、文化と宗教）
（予習内容）自己理解ワークシート課題、カルチュラルアシミレーター課題。（120分）
（復習内容）授業で体験した内容が、自身の日常生活と体験にどのように関わっているのかを考え、振り返りシートを提出する。（120分）
第15回　体験型コミュニケーション14（課題解決型ワーク7、10年後のあなたへ、文化と偏見）
（予習内容）定期レポート試験の準備（120分）
（復習内容）授業で体験した内容が、自身の日常生活と体験にどのように関わっているのかを考え、振り返りシートを提出する。（120分）

＊授業の進捗状況により、（　）内のすべてのワークを１コマの授業で完了できない場合がある。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本コースは以下の点において、人間社会学部心理コースのディプロマポリシーに貢献する。
(1) 講義の視聴を通して、自己理解とともに人々の心理を理解し、同時にコミュニケーション能力を培うことは、よりよい人間社会の創造につながる。
(2) 毎回の課題に対するクラスメートの意見やフィードバックを知ることで、個々人の体験をクラスで共有する。また、個々人が学習事項を内省することで、日常生活だけでなく、ビジネスや援助場面等、その他、諸々の社会生活の場面における実践へとつなげることができる。
(3) 授業では異文化トレーニングや対人コミュニケーションの理論に基づき、体験学習を実践するが、その際、実践だけではなく、人の心理と行動に関する知識も深めることができ、ビジネス場面や援助場面で応用することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

受講生が提出した「学びと気づきの振り返りシート」の幾つかを授業で共有し、教員がコメントをする。授業内容、その他に関する質問は常時、授業中および振り返りシートを通じて受けつけ回答する。

実務経験の有無及び活用

実務経験なし。